

# 平成28年度事業報告

## I 概要

平成28年度も会員の減少などシルバー事業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続きましたが、高齢者活用・現役世代活用サポート事業等の取り組みにより、就業領域の拡大を推進してまいりました。

このような中、事業目標を会員数900人、請負契約金額280,000千円、派遣契約金額12,000千円、就業率95%として事業を推進しました。

## II 事業報告

### 1. 会員の増強

会員募集については、市広報誌へ掲載、チラシの配布などのさまざまな機会をとらえて募集を行いました。また、引き続き今年度も事業拡大推進員によりハローワークとの連携のもと、巡回相談や職業相談会に参加するなど会員の獲得に努めました。

しかし企業による65歳継続雇用などの影響により、平成28年度末の登録会員数は836名で、前年度末に比べて20名の減少となりました。

#### (1) 地域別会員数

(人)

地域	性別	区 分		計
		男 性	女 性	
高 山		311(10)	132(3)	443(13)
国 府		56	39	95
丹生川		27(2)	6	33(2)
清 見		30	9	39
荘 川		24	12	36
一之宮		14	10	24
久々野		53(4)	15	68(4)
朝 日		29	14(1)	43(1)
高 根		10	5	15
上 宝		18	22(3)	40(3)
合 計		572(16)	264(7)	836(23)

( ) 内は、特別会員数である

#### (2) 年齢別会員数

(人)

年齢別	性別	区 分		計	構成比
		男 性	女 性		
60歳未満		0	0	0	0%
60～64		20	17	37	4%
65～69		106	59	165	20%
70～74		180	95	275	33%
75～79		162	65	227	27%
80歳以上		104	28	132	16%
合 計		572	264	836	100%

※1 平均年齢 74.1歳 (男性74.6歳、女性73.1歳)

※2 最高齢 男性91歳、女性90歳

## 2. 事業の実績

厳しい事業環境の中での活動となりましたが、公共団体、民間企業、一般家庭等の皆様から多くの就業機会をいただきました。

契約金額は246,993千円で対前年比100.2%(614千円)とわずかですが増となりました。

### (1) 事業実績

区分	実績	備考
受注件数	5,429件	
就業実人員 ①	742人	
就業延人員 ②	81,963人日	
就業率	91.3%	① / 正会員数
受注金額	246,993,421円	対前年比100.2%
内 配分金 ③	219,330,651円	
1人当たり配分金	2,676円	③ / ②
実働会員1人当り配分金	295,594円	③ / ①
実働会員月間就業日数	9.2日	② / ① / 月数

### (2) 公共・民間等別事業実績

区分	契約金額		前年比
	28年度	27年度	
公共事業	67,061,834円	66,960,164円	100.1%
一般企業	148,172,022円	145,621,890円	101.7%
個人・家庭	30,797,065円	33,141,605円	93%
独自事業	962,500円	654,946円	147.0%
合計	246,993,421円	246,378,605円	100.2%

### (3) シルバー派遣事業実績(県シ連高山市事務所)

請負(委託)契約では受注できない仕事をシルバー派遣で実施しました。受注件数は10件、契約金額は11,067千円、登録会員は43名、派遣就業延人員は3,072人日で、前年度比89%と減少となりました。今後も適正就業及び多様化する働く場の確保のため、派遣事業について発注者の理解を得て増強できるように努めます。

3. 総会、理事会及び各委員会等の活動状況

(1) 定時総会 (5/20) 高山市民文化会館

来賓 5 名、

出席会員 98 名、委任状等 512 名、 計 610 名

平成 27 年度事業報告及び収支決算報告、役員を選任、理事長に対する権限委任

平成 27 年度補正予算・平成 28 年度事業計画・収支予算・平成 27 年度事故の報告

(2) 理事会

① 第 1 回理事会 (4/28)

会員の承認、平成 27 年度事業報告及び収支決算報告、平成 28 年度事業計画の変更及び収支補正予算(第 1 号)、被表彰者の承認、役員を選任、理事長に対する権限委任

② 第 2 回理事会 (5/20 総会終了後)

代表理事の選任、理事長に対する権限委任

③ 第 3 回理事会 (10/7)

平成 28 年度事業計画の変更及び収支補正予算(第 2 号)、理事長に対する権限委任

④ 第 4 回理事会 (12/22)

平成 28 年度上半期事業・収支報告、平成 28 年度事業計画の変更及び収支補正予算(第 3 号)、理事長に対する権限委任

⑤ 第 5 回理事会 (3/28)

会員の承認、平成 28 年度事業計画の変更及び収支補正予算(第 4 号) 平成 29 年度事業計画及び収支予算、定款の変更、各規定の変更、平成 29 年度定時総会の開催、理事長に対する権限委任

⑤ 書面による決議

会員の承認 8 件

(3) 企画委員会 (3/24)

平成 29 年度事業計画及び収支予算、平成 29 年度定時総会の開催、センターの補助金

(4) 就業委員会

① 新入会員就業説明会の実施 (4. 5. 6. 3. 月は毎月第 1. 3 水曜日)

開催月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
受講者数 (人)	15	8	12	5	7	4	4	3	5	2	3	10	78

② 第 1 回就業委員会 (7/14)

年間活動計画の確認  
新規事業について

(5) 安全委員会

① 第 1 回安全委員会 (7/15)

全国安全就業強化月間 7 月、就業会員へ安全確認の周知 (事務局)

② 各地区の安全就業巡回と確認の実施(事務局)

③ 交通安全講習会の開催(2/4)

(6) 広報委員会

- ① 第1回広報委員会 (7/11)  
委員会所管事項、年間活動計画の検討
- ② 第2・3回広報委員会 (11/8.18)  
機関紙「こだま」編集会議

(7) 監査

- ① 平成27年度下半期及び決算監査 (4/22) 事業・収支状況
- ② 平成28年度上半期監査 (10/28) 事業・会計執行状況

4. 研修、講習会等の開催状況

(1) 講演会(5/20) 高山市民文化会館 (定時総会后)

「食でカラダ革命 体内年齢を10歳若返らせる食べ方のコツ」  
講師 中 沢 る み 氏

(2) 交通安全講習会 (2/4) ひだホテルプラザ 会員 154名

(3) シニアワークプログラム (SP) 講習会

- ① ビジネスパソコン (8/17~9/1) 8日間 世界生活文化センター  
受講者 20名

(4) 高齢者人材育成事業

- ① 駐車場案内サポート業務 (7/26~7/27) 2日間 高山市民文化会館  
受講者 10名
- ② 就業意欲啓発セミナー (6/24) 1日間 高山市民文化会館  
受講者 20名

5. 就業分野の開拓・拡大

発注先の事業所等を訪問、また公共事業の請負・派遣の発注についても、市長及び市各部署、各支所責任者にシルバー事業への理解と協力をお願いしました。

また、高齢者活用・現役世代雇用サポート事業により、商工会議所等の関係機関にも請負・派遣事業の発注についての協力もお願いしました。

6. 安全就業の徹底

新入会員へ安全就業についての周知、安全委員会委員・職員による就業場所の安全巡回、会員の就業依頼時に直接安全確認、交通安全講習の開催等の安全意識の啓発等を行いました。

平成28年度の事故発生件数は、本人傷害事故5件(前年4件)、対人事故0件(前年0件)、対物事故が2件(前年2件)発生しました。中でも転倒事故による骨折などの傷害事故が多く発生しました。

今後もあらゆる機会をとらえて、会員の安全意識の高揚と徹底を図ります。

7. 適正就業の推進

就業の基本である臨時的・短期的な形態で適正就業が行われているかを検証し、請負と派遣の区別など法令遵守の徹底による適正就業に努めました。

## 8. 自主事業の実施

### (1) おさらい教室

小学1年生から6年生の児童27名を指導者4名で、毎週2回(水・金曜日)午後5時から7時まで学習指導を行ないました。

### (2) 観光ガイド

おもてなしの心をもって、観光ガイドを実施しました。現在ガイド人数は21名で、平成28年度は182件の受注がありました。

## 9. 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業

28年度は、事業拡大推進員により地域の労働者不足・現役世代を支える分野への請負・派遣事業の拡大を図るため、ハローワーク主催による地域巡回職業相談会の参加や事業所への訪問により事業の拡大に努めました。

## 10. 指定管理施設の運営事業

指定管理者として受託している4施設(高山市丹生川・久々野・国府老人いこいの家、国府町木曾垣内地区体育施設)の管理・運営を実施しました。

各施設の利用状況は下記のとおりです。

国府老人いこいの家	4,856人
丹生川老人いこいの家	778人
久々野老人いこいの家	2,614人
国府町木曾垣内地区体育施設	13,616人

## 12. 普及啓発事業

公益社団法人としてホームページを更新し、センター事業や運営内容を掲載し、情報を公開しました。

また、会報「こだま」の発行、シルバーチラシの配布、市主催の就職面談会、地域巡回相談会に参加し、シルバー事業の啓発、高齢者の就業相談事業を行いました。

## 13. ボランティア活動

(1) 剪定班により福祉センター敷地内の植栽の剪定などを行いました。

(2) 手筒花火大会後の会場周辺の清掃を互助会と協力して実施しました。

## 14. センターの健全経営について

国の補助金は緩やかに回復したものの、企業での65歳継続雇用等の影響もあり登録会員の減少が続くなど、依然として厳しい運営を強いられています。

引き続き、公益社団法人として、組織強化を図り財政面での運営の適正化と法令遵守に努め、事務局機能の効率化など限られた財源を有効に活用できるよう、財務体質の健全化に努めます。